

なほ

12月号
vol. 118

梅南中学校PTA
広報板

消火器
FIRE EXTINGUISHER
使用法 DIRECTIONS (普通用圧巻筒式消火器)
1. 取柄を握り、ピンを抜く。
2. 取柄を握り、ピンを抜く。
3. 取柄を握り、ピンを抜く。

梅南第九振興町会
巻頭特集

いくさの軌憶

—むこうとこ—

「街の連絡板」
梅南1丁目付近にて撮影

巻頭特集

いくさの軌憶

—むこうとこ—

僕たちはずいぶん長いあいだ空気のような平和の恩恵に与ってきた。だから、それが無い状態をうまく想像できなくなっている。71年前、僕たちの国は他国と戦争をしていた。そしていま世界中で戦争に苦しむ人々がいる。紛れもない事実であることは知っている。でも自分事にはならない。この国が彼の地で戦争に巻き込まれても、ピンとこないかもしれない。戦争ってなんだ？ 平和ってなんだ？ そんなモヤモヤを解きほくそうと、いまに続く記憶の軌跡を辿って、むこうとここの「軌憶」を考えてみたい。

(いくさプロジェクト：田岡・飯島・西田・若松・佐々木)



広島編 その1 自分の「あの日」を 巡ってみた



平和のための 戦争？

2015年9月に改正安全保障関連法案が可決された。3月29日に施行され、集团的自衛権行使が認められた状況下、日本はある。正式名称は「平和安全法制整備法」「国際平和支援法」なので平和を支える法律という印象を与えるが、改正内容の実質は海外派兵を容易にする「戦場に近づく法」だ。万が一、20年後30年後に戦争をしていても、国際平和のためという大義を掲げているのだろうか。

昨夏、僕は扇町公園で開催された戦争法案反対3万人集会に参加した。労働組合や運動団体の幟がひしめく中、黄と紫の「ベ平連」の大きな旗を発見したとき、1960〜70年代に学生時代や青春を過ごした先輩方は、二度の安保闘争やベトナム戦争などで平和のことを考えていたのだろうかと思いを巡らせた。僕がこれまでに平和を一番学習したのは、広島への修学旅行があった小学6年生の時だろう。年末の大掃除の時に偶然に実家の押し入れから、修学旅行のしおりが見つかった。しおりと一緒にあった「広島ノート」

を見ると、新聞の切り抜きなど旅行前に熱心に勉強していたことがわかる。でも、肝心の思い出は「初めての新鮮線」「腕時計をしたまま海に入って壊してしまったこと」「原爆資料館で見たおどろおどろしい人形」「元毒ガス島だがウサギだらけの大久野島」だった。大義名分はないが「27年前」という時間のむこうとこをつなぐ軌憶を頼りに、もう一度修学旅行と同じ場所を辿ってみた。

職大統領も訪れていなかったこの場所が、世界に向け核兵器の脅威を訴え続けている存在感はないかなかのものだ。そのまま広島平和記念資料館を目指し、平和公園を歩いてみると、修学旅行中の小学生が集まる場所があった。2歳で被爆し、その後遺症で11歳の時に白血病を発症し、わずか12歳で人生を閉じた佐々木禎子さんをモデルにつくられた原爆の子の像だ。ある小学校がリコーダー合奏を織り込みながら、非核や平和への誓いを全員で唱和

外国人旅行者と 修学旅行生

まずは、原爆ドームへ。外国人旅行者が多い。原爆ドーム前には20カ国語以上に翻訳された説明資料が用意されている。戦後しばらくしてから取り壊しも検討され、また27年前は世界遺産でもなければ、米国の現



原爆の子の像



被ばく福助

しのゲン』の撤去を求める声と変わらない。「成長過程や判断能力が十分ではない段階で、残酷すぎる内容を植え付けることは許さない」という言い分なのだろうが、そもそも戦争や核兵器がもたらすものは凄惨なものだ。その愚かさや恐ろしさを伝えるには「恐怖」も必要だ。

瀬戸内の楽園

広島市を離れ、戦艦大和がつくられた呉を経由して大久野島へ向かった。忠海港に到着し、大久野島行きフェリーに乗るときは日が暮れていた。広島市からは思った以上に離れていた。宮島・厳島神社ではなく、わざわざ大久野島を選んだ当時の担任は、平和学習に力を入れていたのだろう、と一人納得する。

現在の大久野島は、瀬戸内海国立公園にある豊かな自然を楽しむ休暇村、「瀬戸内の楽園

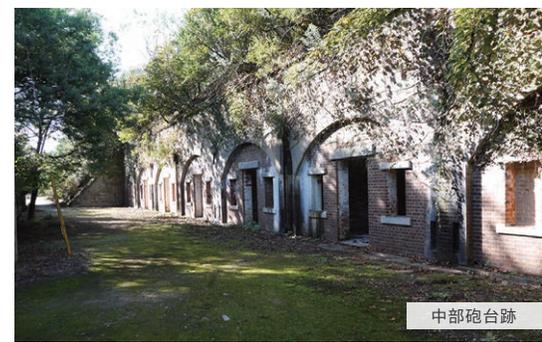


大久野島

ウサギと出会う島」として知られている。島内には700羽以上も生息しているようで、到着するとウサギだらけだ。戦時中は日本帝国陸軍により毒ガス製造工場がおかれ、1938〜1947年までは地図から消されていた島とはとても思えない。宿に着くとリニューアルされ、当時、僕が修学旅行で宿泊した部屋はスタッフの男性寮になっていた。

翌朝、レンタサイクルで島内の遺構をめぐる。1903年の

芸予要塞時代からあるレンガ造りの砲台跡や、毒ガス工場時代のコンクリート造りの毒ガス貯蔵庫跡や発電所跡は、放置されたまま草木に覆われ、ウサギの姿もあいまってアニメ映画『天空の城ラピュタ』のような竹まいだった。毒ガス資料館では、防護服や陶器製容器、工員手帳、マスクを被った日本兵の写真などが展示されていた。コンパクトな展示だが、当時の軍が毒ガス製造・使用を禁止する国際ルールを無視して暴走



中部砲台跡

し、その指揮のもとで建造された毒ガス工場が多くの工員の犠牲や被害を生み、そこで製造された毒ガスが中国大陸の実戦で使われ新たな被害を生むという、最前線で働く人が被害者でもあり加害者でもある戦争の悲哀を伝えていた。

むこうとこ

大久野島からの帰り道、毒ガス工場に働いていた藤本安馬さんのお宅で話を聞いた。「工員時代は軍国少年。生活が貧しく、大久野島に陸軍工場がで

き、働けることになったときはうれしかったし、誇らしかった。必死で国のために働いた。ただ、敗戦後に軍国主義の間違いに気づいた」という言葉が印象に残った。同じ言葉は戦艦大和の最期を迎えた白濁磐大尉の言葉にもあった。「敗れて目覚め

る、それ以外にどうして日本が救われるか」と。帝国主義の時代も終わり、太平洋戦争という大きな過ちと反省を経て、平和憲法をもつこの国が過去と同じ道をたどるとは思わない。しかしロシアの南下政策の脅威から日本の安全保障のための朝鮮半島の独占を機に日露戦争は始まった。戦争のための戦争はなく、平和や安全保障のための戦争しかないのだろう。そして、ひとたび戦争に足を踏み入れると、勝てば官軍で戦争を続け、敗れるまでは目覚めない。それが戦争の本質なのだろう。

自らのむこうとこをつなぐ再訪の試みは、ときれときれで軌憶というにはほど遠かった。ただ、改めて平和を考える機会を得たことで、今の自分とくさが少しはつながった。

文責：田岡 秀朋

* 藤本さんのお話は次号で特集します。



長浦毒ガス貯蔵庫跡



三軒家毒ガス保管庫跡とうさぎ

きんこん がこん

ver.1.1

教育に取り組んでいるのは学校だけじゃない!小中高のほかにも地域の教育事業で活躍する団体・施設・仕組みを紹介していきます。

18時間目: 楽塾



障害者会館との合同の調理実習

学校とはひと味ちがう学びの場やで! 「楽塾」

8年間で334回、継続の力

2008年7月、くらし応援室の佐々木さんの思いがたくさん詰まった楽塾が開講しました。楽塾は学びたくても学べなかった人、もう一度学び直したい人たちの学び直しの場です。毎週土曜日18時30分から21時30分まで、三星温泉の地下1Fスペースで近所のおっちゃんや研究者、専門家の友人・知人を講師に迎え、多種多様なジャンルの話やワークショップ、フィールドワークを体験できます。講義のあとは参加費1000円で講師らと給食を食べながら、話の中でわからなかったことや感想を話し合います。2016年11月5日現在で334回も開かれ現在も進行中です(※)。

部落解放運動と

プロレスのお題で参加

楽塾っていろいろやっていて面白いなと思っていたところ、塾長の佐々木さんから「楽塾で話してくれへん?」と筆者にオ



(左) 奈良県大柳生での田植え (右) 陶芸教室の様子



ファーがありました。その時のテーマは「これからの部落解放運動について」でした。「部落問題を全く知らない人にどう伝えようかな?」とけっこう悩みましたが何とか思いを伝えられたと思います。その1年後には趣味の「プロレス」というお題をいただきました。佐々木さんにプロレスが好きなることを話していたら、「それならいけるだろう」ということだったのでしよう。この時は前回とは違って、発表の準備がほとんどはかどり、資料があまりにも膨大になって整理するのが大変でした。当日も持ち時間では足りず、佐々木さんから「つまみでしゃべり続けるのか心配になった」と言われました。自分の好きなことはいくらでも話せることがとてもわかりました。他に講師をしたことがある人も同じように感じているのではないのでしょうか?

制作や旅行をとおして身体で学ぶ

そんな楽塾のカリキュラムは話を聞いているだけではありません。時には映画の鑑賞後に塾長の解説を受けたり、鯉のぼり制作や陶芸などの創作活動も行います。また、毎年6月になると奈良県の大柳生に



9周年を迎えた楽塾

「修了記念旅行」と称する3月の旅行では、行き先の歴史や文化を学ぶことで楽しみも増します。楽塾に毎週通っている人たちは、佐々木さんが日々の生活全般にわたって様々な応援をしてきた人たちが多くいます。佐々木さんの応援で、安心した生活を過ごせるようになった人も、佐々木さんの顔が見たくて楽塾に訪れます。こんな居場所も素敵だと思えました。

レポート... 寺嶋公典
沖田一志

※インターネットで「楽塾 ナイス」を検索すると、これまでの報告を見ることが出来ます。

[寺嶋公典] にしなり隣保館のこどもと将棋をよく指す。こどもに負けないようにと、父と25年ぶり(?)に将棋をした。強く勝てなかった父に初めて勝ったけど、変な寂しさが残った。



[沖田一志] 先日、大正区の大きな家具屋に初めて行ってきました。小さな棚を探してただけなのに、予定外の家具も購入することに…。帰りの車は段ボール箱を満載、家族は電車で帰宅でした。



ナイスな仲間たち

『なび』をつくる(株)ナイスは、地域での取り組みも、社会に向けた取り組みもいろいろ。多様につながる実践を紹介していきます。

大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合

VOL.32

エル・チャレンジ



3号連続、最後のエルを飾るのは「障がいがあるから働けない」に挑戦する事業協同組合のエル・チャレンジです。1999年に2つの社会福祉法人が参画した全国初の事業協同組合としてスタート。正式名称の通り「清掃業務(建物サービス)」を通して「障がい者の雇用促進(就労支援)」に取り組み、「行政の福祉化」というパートナーシップのもと、清掃業務委託費のみで職業的軽度障がい者の就労訓練に取り組んでいます。就労支援課長の^{上国料}さん(ナイス)にエル・チャレンジのこだわりや将来像をうかがいました。

なぜ、ビルメンテナンス(清掃)だったのか？

ビルメンテナンス産業の特徴(①都市型サービス産業→大都市大阪、②官公庁の発注比率が高い→政策意図をもった取り組みが可能、③労働集約型産業→人材ニーズがある、④地域密着型産業→障がい者サービスも地域密着型、⑤多種多様な業務内容・勤務形態→多様な障がい特性)が障がいのある人たちにとって働きやすい職場だと考えたからです。現在、エル・チャレンジでは、ビルメンテナンスの現場で2種類の就労訓練を実施しています。

① 就労訓練(通年型訓練)

特徴…受託現場での日常清掃を通して就労訓練

目的…ビルクリーニング技術の習得
基本的な職業生活習慣の習得
生活の質の向上、社会性の向上

② 就労体験(短期型清掃)

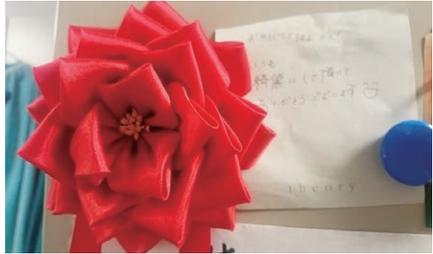
特徴…短期清掃業務(除草作業など)を通して就労体験
目的…社会参加、就労への動機づけ
地域での啓発



(左) 就労訓練の様子 (右) 園芸という職種へ

やっぱり社会の中で働くことが大事です

就労訓練の現場では、1〜3名の障がいのある訓練生が現場スタッフとともに日常清掃業務のプロとして働いています。実際の現場だからこそ、厳しいクレーム(ご意見)もいただきますし、誉めてくださいます。訓練とはいえ、「障がいがあるから」「就労のレベルに達していないから」という言い訳は出来ません。常に「汚いところをキレイにする仕事」という誇りを持って、良い仕事(質)で勝負しています。しかし、施設オーナーや職員、施設を利用されるお客さまに「ご心配



感謝の言葉

まに「ご心配

やご迷惑をおかけしているのも事実です。作業時間内に間に合わなかったり、あいさつが苦手な訓練生がいたりしますが、笑顔で「頑張ってるね」と声をかけてくれたり、時には旅行のお土産を差し入れてくれたりと、温かい見守りや嬉しいエピソードがいっぱいです。

やりがいを 持つて 働き続けるために

設立以来、訓練を経て就職した人は延べ700名。5年以上働いている人もたくさんいますが、短期間で退職される人もいます。理由は様々ですが、障がい福祉サービス事業所に通所している時の方が楽しかったという人もいます。事業所では仲間との他愛もない会話や休日のレク活動があったからです。また、働き始めは目標を持って緊張感を持ちながら取り組んでいたことも、仕事に慣れてくるとやりがいも飽和状態。それが課題の発生につながっているようです。

だからこそ、これからの障がい者雇用で

大切なキーワードは「キャリアアップ」なのかもしれません。いつまでも同じ業務ではなく、障がいのある人の「可能性に着目」してもらえる職場環境づくりやキャリアアップを企業とともに考え、実現したいと思えます。

モップと箒と誇りを持つて

これからも、エル・チャレンジは、福祉施設を飛び出し「産業の中で実際に働ける社会を目指します。誰もが生き生きと働ける社会を目指します。エル・チャレンジの訓練生とスタッフは、「清掃はサービスの最前線だ」と胸を張って、今日も明日もお客さまの健康と笑顔のためにモップと箒を持って清掃に励んでいます！

文責…上国料 洋子

エル・チャレンジ

〒540-0006 大阪市中央区法円坂1-1-35 大阪市教育会館4F
☎ 06-6920-3521 FAX : 06-6920-3522
Mail : info@l-challenge.com
URL : http://l-challe.com/



[谷口円] 春は海外か日本をぶらり旅、夏は富士山で山小屋バイト、秋は再び旅に出て、冬は雪山でスノボ(リゾバ)という生活を送っている友人がいます。来年は少しこの自由さを見習いたいなあ。



[田岡秀明] 日本が核兵器禁止条約の決議に反対した。核兵器を否定する国が禁止には反対? わけがわからない。と言っているうちに年の瀬だ。今年もありがとうございました。



[飯島照喜] もうすぐ師走、この1年を振り返る月がやってくる。といっても、毎年反省ばかりで年を迎える。いや、今年はちと、違うような気がする。と木枯らしとともに思いがこみ上げてきた。



今月の花:レウコフィルム

花言葉「敬慕」
心から尊敬し、
したうこと

冬の寒い時期に、白い葉っぱ
に可愛いピンクの花を咲か
せます。-5℃の寒さにまで
耐えられます。



寒い時期になると行方不明になった人
たちを思い出します。楽しく笑って働いて
いても、影につらい事をかかえていて、突然
消えざるをえない人生。寂しい…。「ちゃん
と食べてるかなあ?」「ちゃんと布団で寝
てるのかなあ?」と心配になります。また顔
見せてよ～
(なんぼひとみ)

hidarimaki



三島を再読、あつためて言葉の豊かさに魅せられる。昭和の書籍は活字が小さく、印刷も薄ボケ、紙もまっ茶色に変色。紙魚も湧き読みづらい。けど所蔵分は読んでしまおう。

天ヶ瀬
野分けてダム放流を急がせる

醍醐寺
山門が暑気と涼気の境なり

大柳生一
刈田してまた育ちおる青稲穂

大柳生二
稲を刈る子らの終いはお八つどき

ダイラン
ハリケーンがダイナマイトをもてあそぶ

大久野島
毒ガスとウサギが陸む秋の瀬戸

い湯かげん

「働く場」を広げるために

ボクは「ソーシャル・ファーム・ジャパン」という団体の運営委員を務めているのだが、その代表の炭谷茂さんは、最近、国会で「ソーシャル・ファーム法」を創るチャンスが来たと奔走されておられる。

何故そうなったのかから話すと、いま話題の小池百合子東京都知事は「つかみ」の上手い政治家だが、環境大臣の時、環境省事務次官だった炭谷さんの提案をつかんで「ソーシャルファーム推進議員連盟」の初代表に就かれた。そして都知事選挙でも「ソーシャル・ファーム都条例」を公約に掲げられた。

小池さんの知事転出後、後継の議連代表となった田村厚労大臣が、この法の議員立法化をめざそうとなった、というわけである。ちょっと似た話だが、静岡県富士市では「ユニバーサル就労推進議連」ができて、近く条例を市議会に上程するそうだ。

ソーシャルファームとは何かと説明するのは難しい。「ファーム」は農場ではなく「働く場」の意味だが、通常の企業とはちよつと違う。福祉(作業所)でもないから、いわば「第三の働く場」となる。障害者など「働くことに困難を抱えた人」とそ

うでない人が「共に働く場」である。ユニバーサル就労というのも似た趣旨で、働くことに困難を抱えた人に働きやすい環境を提供することは、誰もが働きやすい職場になるという、いわば「支援付き就労」という意味だ。

「実社会」というのが如くで、「学ば(福祉)」と「働く」を別々に考えるのが日本の常識だったが、この際、発想を変えて、一体でやってみようというのがこの試みだ。「働く意欲は、働くことから」というわけで、企業と福祉の両方の常識を破ったことになる。頭を柔らかくしてみると、ありそうな話だ。要は、

利益分を初めから福祉(教育)に再投資することを盛り込んでおくから、通常企業のような内部留保とか株主への配当はないわけだ。その分、財務評価は低いし、銀行からの融資とかが受けにくくなる。そこで、この法や条例はソーシャルファームに公費助成を求めるものじゃなく、認証して欲しい、ソーシャルファームというパスポートを与えて欲しいというものだ。NPO法が非営利社会活動へのパスポートなら、ソーシャルファーム法は、利益の社会再投資型事業体へのパスポートというわけだ。

小池都知事のことだから、都の発注事業に「東京の闇」があるのなら、いつそのことソーシャルファームに発注するなんて「つかむ」かもしれない。理に適った話じゃないか。四の五の言わずサツと通してあげたら良いじゃないか、ボクはそう思う。



㈱ナイス代表取締役
富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「い湯かげん」のテーマ探しに出かけます。

たぐの 3くほろたま



巷は米国大統領一色だが、直ぐその熱狂も覚めるだろう。お年寄りの交通事故が相次ぐが、それもすぐ忘れられるだろう。情報って何なのかわからなくなる。人の命が軽くなる。(安田拓也)

こはるびより

外を歩くのが少し足早になる今日のごろ、ガタガタと窓が鳴り、みんな冬眠の準備に掛かるように、フツとにぎやかになる、いつものアパートの一室6畳2間。

近所に住む80を回る、でも「おばあちゃん」と言うには、まだキラキラとした、そんな人の「ありがとう」が、近ごろよく聞こえる。

普段、老人ホームでくらす旦那さんへ、昔からの趣味のカメラや思い出の写真を持っていき、「わがまますゆ〜んよ」と言いながら、きつとワクワクと「おとうさんのところ」へ会いに行く。でも最近、おかあさんが足を悪くしたようで、買い物帰りの階段がとてつらそうだ。ご近所さんの手を借りながら、いつも「ありがとう」のおすそ分け。

扉を開けるとあったかい、そんな秋のひと時。

[西田吉志] 先月、広島に行ってきました。広島は小学校の修学旅行で行って以来、約20年ぶりです。日本シリーズの真最中で街に活気があったが、何よりも路面電車のデザインがメッチャお洒落だった。



にっしよ 飯ユラ

メシ

9軒目

『韓式家庭料理・鍋物』

椿園



ミシュランならぬ“飯ユラ”。匿名でなく飯島 (だから飯(メシ)ユラ) が「店主がおもしろい」、「店の客が楽しい」、「料理が、味がおいしい」の3つの「い」を基準に、西成区内の飲食店などを紹介します。

椿園、韓式家庭料理・鍋物そして焼肉の店。以前から気になっていた「韓式」。韓国では日本料理全般を「日式」と、韓国料理を「韓式」と呼んでいるようだ。いわば韓国の“家庭料理”、日本でいうお袋の料理を楽しめるのが椿園である。調理人は女性店長の永森順子(金順伊)さんとスタッフの趙洋子さん、永森さんは三代目。昨年12月に店長に就任、「先代の味を追求」しつつオモニの味を日々提供している。

韓国料理は五味(甘、辛、酸、苦、塩)、五色(赤、緑、黄、白、黒)、五法(焼く、煮る、蒸す、炒める、生)をバランスよく献立に取り入れることが良いと言われている(聞きかじりですが)。キムチ、ナムル(モヤシ、ゼンマイ)などの野菜類、カムジャタンなどのスープ類、チゲなどの鍋類、炭火焼肉の肉類、チヂミ等のお焼類、ビビンバなどのご飯類、ラーメンなどの

粉食類などなど、メニューは豊富。なるほど、こちらの料理にも五味、五色、五法が取り入れられているのかな？

さあ、食べよ、ナムルから始まり焼肉、カムジャタン、チヂミなど、食べるわ飲む(ジン)口わで腹いっぱい。美味しいし、また胃袋にやさしい家庭料理を満喫した。ときおり、調理場から永森さん、自ら調理の手を休め「どう、おいしいですか」「カムジャタンは豚の骨をしゃぶりつく鍋料理ですよ」と解説、調理しながらも客への「心づかい」がうれしいじゃないですか、まさに「韓国の家庭料理と家庭のやすらぎ」を満喫できるのが椿園である。

椿園

場所: 西成区鶴見橋2-11-2

電話: 06-6567-5689

営業時間: 平日 11:30 ~ 14:00
17:00 ~ 21:30



あとがき

10月18日午前起こった「土人」発言問題について。大阪府知事の失言をはじめさまざまな識者がコメントを寄せたが、前号で現地を報告した身としては、茂木健一郎さんの「完全にアウト、だけど、この隊員さんにそのように言わせた『構造』はより問題だと私は感じます」という“つぶやき”が的を射ていると思う。茂木さんの「構造」が、沖縄に過大な負担を強いているこの国のあり方を指しているならば、本州に住むわたしたちもまた片棒を担いでいることになるはず。それが問題なのだ。(若松)